

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	08 04 20	中期総合計画主要施策番号	2-03、3-13	担当課	部・課	農政部園芸畜産課	
事業名	肉牛の放射性物質全頭検査事業				内線	3179	
					E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H23 ~ H24	根拠法令等	長野県産肉牛の全頭検査実施要領				
実施方法	直接実施					国庫・県単	国庫補助事業

事業の概要等	目的 (必要性)	長野県産牛肉の安全、安心をより明確にし、消費者の信頼の確保と生産者が安心して生産できる環境整備を図るため、県内で飼育され、県内でと畜される全ての肉牛を対象に放射性物質全頭検査を実施する。				
	対象	県内で飼育され、県内と畜場へ出荷される全ての肉牛				
	目指すべき姿	県産肉牛の安全・安心の確保				
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の4と畜場で検体を採取し、松本家畜保健衛生所へ検体を搬入 ・放射性物質簡易測定機器を使用したスクリーニング検査 				

事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 人件費 5,767千円 検査に係る器材費 1,270千円 検体搬送費 2,471千円
	最終予算額 (A)		千円	-	11,516	15,988	
	決算額 (B)		千円	-	10,269		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	-	0	0	
	概算人件費	従事する職員数	人	-	0.75	0.75	
		概算人件費 (C)	千円	-	6,194	6,194	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	-	16,463	22,182		

事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 (効率指標 算出式) 概算事業費 / 検査検体数
	検査検体数(活)		検体	-	5,434	9,300	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 検査検体数		千円/検体	-	3.0	2.4	

事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	県内で飼育され、県内でと畜された全ての肉牛の放射性物質全頭検査			県内で飼育され、県内でと畜された全ての肉牛(5,434検体)を検査し、結果は全て不検出であったことから、県産牛肉の安全性を確認することができた。			b 期待どおり

事業の課題	区分	判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 県民の牛肉に対する安心が回復したとは言えず、県が牛肉の安全性を確認することは、引き続き求められている。 なお、牛肉の流通は県域を超えるものであるため、本来国が責任を持って検査を行うべきものであることを機会ごとに要望している。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	原発事故が未だに終息せず、国産牛肉に対する消費者の信頼が回復したと言い難い状況にあり、安全・安心を明確に担保するため、当面「全頭検査」を継続する。				
	特記事項					